

3月戸田市議会定例会が閉会



一般会計予算に賛成 中学生の給食無償化などを評価

民
主
戸
田

No.1886
2025年4月5日
発行
日本共産党
戸田市委員会
048-443-8332



市議団ホームページ
QRコード
※市議団HPは現在
更新準備中です

一般会計補正予算に 反対 むどう議員

3月26日、2025（令和7）年3月戸田市議会定例会が閉会しました。日本共産党戸田市議団は、25年度戸田市一般会計予算に賛成し、24（令和6）年度戸田市一般会計予算補正予算及び25年度戸田市水道事業会計予算に反対しました。各討論の大要は次の通りです。

むどう葉子議員が、25年度戸田市一般会計予算に賛成討論しました。

●要旨

25年度予算要望書を菅原市長に提出し、市民の要望に応えた予算となるよう求めました。予算要望書を作成するためには、実施した市民アンケートでは、回答者の約6割が以前より生活が厳しくなったと回答しています。11月末には市民団体と一緒に集めた学校給食

無償化署名を市長に手渡し、懇談に立ち会いました。各常任委員会の審査では、長引く物価高騰のなか

厳しさを増す市民生活にどう応えるかといった視点に立ち、各種施策と予算を審査しました。25年度の予算編成は過去最高の予算額で、市税収入は前年度より8億3351万9000円、2・7%増を見込んでおり、市民要望に十分応えられるものです。

むどう葉子議員が、24年度戸田市一般会計補正予算（第9号）に反対しました。今回の補正予算は、財政調整基金に38億5619万2千円を積み立て、24年度末の財政調整基金の残高は82億7439万8千円です。本市の予算編成において、当初予算で財政調整基金を取り崩していますが、

ども達へ平和を語り継ぐ。東部福祉センターで週3回、小、中、高校生を対象に、塾に行けない子ども達に対する支援を充実させます。

は、市民サービスの後退とならないよう仕様書の見直し、相談員の質の向上。

☆年金生活をしている高齢者に対して、敬老祝い品の増額。

☆戸田市公共交通計画は交

通弱者に対応する計画に。

☆教育委員会において、普

段から不登校児童生徒を増やさない為にも、カウンセ

ラーを各小中学校に配置。

☆市民医療センターの小児

精神外来の予約枠の拡大。

☆迅速な物価高騰対策。

年度末には、多額のお金を残し、財政調整基金に積む結果、財政調整基金の残高は年々増えています。

財政調整基金は、震災の時や市税が減少傾向にある一定額を積み立てることは理解できますが、自治体の財政運営は単年度主義が原則です。また、コロナ禍から市民生活は不安定になります。今後、コロナ収束前からの物価高騰が続いていることからも関わらず、これだけの金額を年度末に残すならば、市民生活にもっと充てるべきだったと考えることから反対しました。

議会でも、様々な議員が市民の声を届け、市民サービスの向上を訴えているにも関わらず、これだけの金額を年度末に残すならば、市民生活にもっと充てるべきだったと考えることから反対しました。

議会でも、様々な議員が

金生活者や子育て世帯等は、生活不安で先行きが不透明のままです。

議会でも、様々な議員が

金生活者や子



戸田市議会3月定例議会

本田議員の一般質問

3月定例議会における本田哲議員の一般質問の大要是以下の通りです。

(本田) 戸田市は、2025年4月から水道料金を平均33・66%値上げする。物価高騰で生活の厳しさが増している市民、事業者には大変重い負担となる。(1)2025年度の値上げ総額は免規定の創設を(3)一般会計を繰入れ、今回の水道料金値上げ分の負担回避をすべきではないか。

業は、料金収入等で事業を行う独立採算制が原則だが、例外的に一般会計から公営企業会計への経費を支出することができ、基準外繰入金を活用できると考える。コロナ禍、国の交付金に一般会計からの繰入れを上乗せし、上下水道基本料金の減免が実施された。一般会計からの繰入れは可能であり、市民の命とくらしを守るべき。

道使用者の負担が増加することになることから、減免規定を設けることは考えていない③公営企業法の規定

19日に開かれた議会運営委員会にて、「一部の外国人による犯罪の取り締まり強化を求める意見書」（政策TODA提出）を国に提出するかが問われ、日本共産党戸田市議団が反対し、国への意見書提出とはなりませんでした。

意見書は、戸田市や近隣

一部外国人犯罪の意見書

本田哲議員は日本共産党戸田市議団を代表し、25年度水道事業会計予算に反対しました（以下要旨）。

4月からの水道料金値上げを知った市民から、「物価高騰が続くなか、なぜ今、水道料金の値上げなのか」「これ以上の生活の切り詰めはできない。水道料金の引き上げは止めて」等の声が多数寄せられました。

今回の値上げで、5億8236万6千円の負担増と

なります。生活の厳しさが増している市民、市内事業所には、日々、使用する「水」の料金値上げは大変重い負担となると考えます。

水道事業は、地方公営企業法のもと「独立採算制」が原則で、水道料金等の収入をもって事業を経営することとなっていますが、水道法第1条は、「この法律は、水道の布設及び管理を適正かつ合理的ならしめるとともに、水道の基盤を強

一般会計からの繰入れで 水道料金値上げの負担回避を

強化などを求めるもので
す。議会運営委員会で本田
哲議員は、「事件や犯罪へ
の対応は、法治国家である
日本において国籍関係なく
対応されるべきで、事件・
犯罪を未然に防ぐためのパ
トロール等の強化も必要と
考えるが、今回の『一部の

安心な「水」の供給はもちらん、「公衆衛生」向上と誰もが等しくその恩恵を受けられる環境を整備することは言うまでもありません。

コロナ禍では、感染症対策として手洗い・うがいの習慣化が徹底されました。今回の値上げが、手洗い・うがいをはじめ、日々の生活における入浴、洗濯、掃除など、また、市内事業者等の営業も含め、「公衆衛

化することによつて、清潔にして豊富低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与する二二二目的を

◆ 意見書提出に調整を
求めた

- * 平政会：榎本守明、斎藤直子
- * 保守の会：河合ゆうすけ
- * 新時代：渡辺るい
- 清明、三輪なお子、三浦のぶお
- * 公明党：竹内正明、石川

図る」と定められている趣旨を鑑み、一般会計からの繰り入れを行い、今回の水道料金値上げを回避すべきです。コロナ禍では、国からの方の交付金に一般会計からの繰入れを上乗せし、上下水道基本料金減免が実施されました。補正予算で財政調整基金に38億円も積める戸田市の県内一豊かな財政を活かし、市民の命とくらし、そして「公衆衛生」環境を守るべきと考えます。

*政策TODA：遠藤英
小沼さゆり、辺見智子
樹、細田昌考、そごう拓